

資料2 「沖塚原東B遺跡 中世の木製品展」を開催します

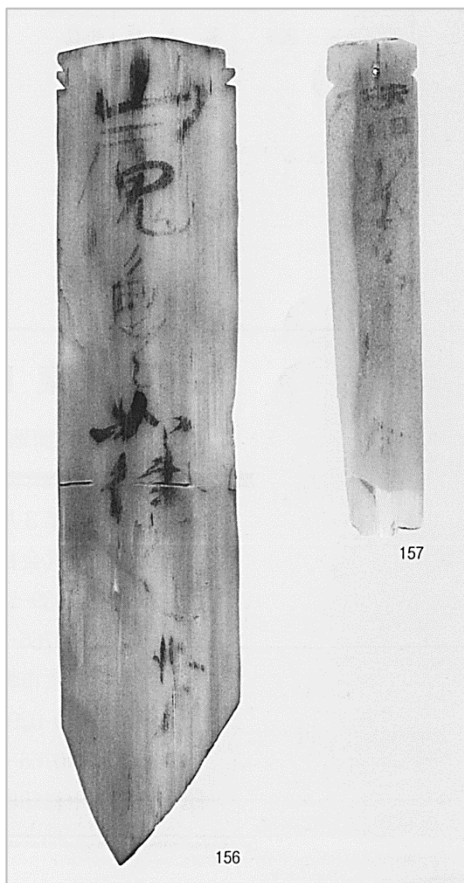
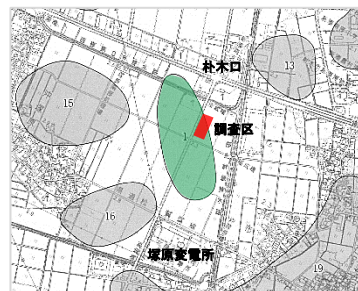
沖塚原企業団地造成事業に伴う沖塚原東B遺跡の令和3年の本発掘調査において、鎌倉時代から現代へと出土した木製遺物の保存処理が完了しました。これらの考古遺物を展示・公開し、射水の遺跡や考古学の魅力に親しんでいただく機会とします。

1. 展示期間 10月15日(土)～30日(日) ※午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)

2. 展示場所 射水市埋蔵文化財センター (三ヶ1769番10)

3. 展示遺物
- ①呪符木簡(祭祀具)、②漆椀・漆皿(容器)
 - ③箸(飲食具)、④井戸曲物、⑤櫛・下駄(服飾具)
 - ⑥独楽(遊戯具)、⑦鞘と包丁(調理具)

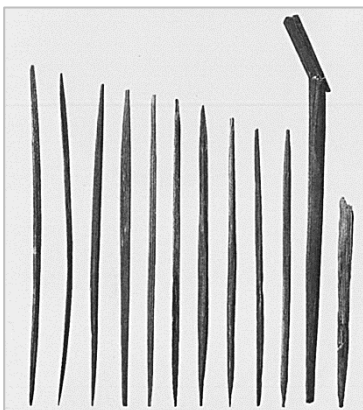
※発掘調査時の写真パネルも展示



①呪符木簡



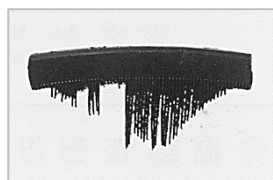
②漆椀・漆皿



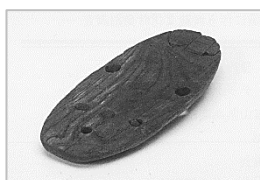
③箸



④井戸曲物



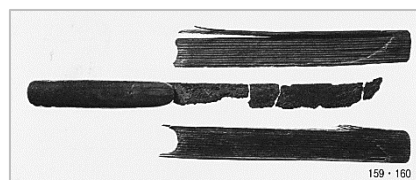
⑤櫛



⑤下駄



⑥独楽



⑦鞘と包丁